

新字音仮名遣表

一、本表は大体現代における標準的発音によつて整理したものである。

一、本表は字音を書き表はすすべての場合に用ひることを原則とするが、原文の仮名遣による必要のあるもの、またはこれを変更しがたいものは除外する。

一、本表は今後各官庁および一般社会において使用せらるべき字音仮名遣の基準を示したものである。

(備考)

一、字音のウ。列長音はウ。列の仮名に う| をつけて書く。

一、字音のオ。列長音はオ。列の仮名に う| をつけて書く。

一、字音のウ。列拗音の長音はウ。列拗音の仮名に う| をつけて書く。

一、字音のオ。列拗音の長音はオ。列拗音の仮名に う| をつけて書く。

一、字音の拗音は必要のある場合にかぎり や、ゆ、よを右側下に細書する。

一、字音の促音は必要のある場合にかぎり つ| を右側

下に細書する。  
一、字音か否か明らかでないものは字音の例に準じて書く。

新旧字音仮名遣対照表

一

旧 仮 名 遣	あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち つ て と な に ぬ ね の ひ ふ ぶ ほ ま み む め も や ゆ よ	発 音	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ヒ フ ブ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ	新 仮 名 遣	あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち つ て と な に ぬ ね の ひ ふ ぶ ほ ま み む め も や ゆ よ
------------------	---	--------	---	------------------	---

二

旧 仮 名 遣	い う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち つ て と な に ぬ ね の ひ ふ ぶ ほ ま み む め も や ゆ よ	発 音	イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ヒ フ ブ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ	新 仮 名 遣	い う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち つ て と な に ぬ ね の ひ ふ ぶ ほ ま み む め も や ゆ よ
------------------	--	--------	--	------------------	--

旧 仮 名 遣	あ う わ う か う が う さ う ざ う た う だ う な う は う ぼ う ま う や う ら う
發 音	オ コ ゴ ソ ゾ ト ド ノ ホ ボ モ ヨ ロ
新 仮 名 遣	お う こ う ご う そ う ぞ う と う ど う の う ほ う も う よ う ろ う

四

旧 仮 名 遣	き う ぎ う し う じ う ぢ う ち う に う び う り う
發 音	キ ユ ギ ユ シ ユ ジ ユ チ ユ ニ ユ リ ユ
新 仮 名 遣	き ゆ う ぎ ゆ う し ゆ う じ ゆ う ち ゆ う に ゆ う び ゆ う り ゆ う

旧 仮 名 遣	き や う ぎ や う し や う じ や う ち や う ひ や う び や う み や う り や う
發 音	キ ョ ギ ョ シ ョ ジ ョ チ ョ ニ ョ ヒ ョ ビ ョ ミ ョ リ ョ
新 仮 名 遣	き よ う ぎ よ う し よ う じ よ う ち よ う ひ よ う び よ う み よ う り よ う

新字音仮名遣表

第一 ぬ、を、は、い、え、おとする。

例

- 一 ぬをいとするもの
  - 位<sup>イ</sup> 委<sup>イ</sup> 威<sup>イ</sup> 尉<sup>イ</sup> 胃<sup>イ</sup> 遺<sup>イ</sup> 域<sup>イ</sup> 員<sup>イ</sup> 韻<sup>イ</sup>
  - 院<sup>イ</sup> 水<sup>ス</sup> 炊<sup>ス</sup> 衰<sup>ス</sup> 推<sup>ス</sup> 随<sup>ス</sup> 对<sup>ツ</sup>
  - 遺<sup>ユ</sup> 類<sup>ル</sup>
- 二 ぬをえとするもの
  - 会<sup>エ</sup> 恵<sup>エ</sup> 回<sup>エ</sup> 衛<sup>エ</sup> 越<sup>エ</sup> 遠<sup>エ</sup> 猿<sup>エ</sup> 園<sup>エ</sup>
  - 円<sup>エン</sup> 苑<sup>エン</sup> 怨<sup>エン</sup> 援<sup>エン</sup> 宛<sup>エン</sup>

三 をを おと するもの

汚オホ 悪オホ 鳴オホ 翁オウ 屋オウ 温オン 穂オン 園オン  
遠オン 怨オン

第二 くわ、ぐわ はか、が とする。

例

一 くわ をか とするもの

化カ 花カ 貨カ 果カ 課カ 菓カ 過カ 科カ  
火カ 会カイ 絵カイ 悔カイ 壞カイ 回カイ 怪カイ  
快カイ 獲カク 拈カク 活カク 猾カク 歡カン  
官カン 還カン 貫カン

二 ぐわ をが とするもの

瓦ガ 臥ガ 外ガイ 月ガツ 元ガン 丸ガン  
願ガン

第三 ぢ、づ はじ、ず とする。

例

一 ぢをじ とするもの

痔ジ 軸ジク 舳ジク 陣ジン 女ジヨ 除ジヨ

二 づをず とするもの

豆ズ 頭ズ 途ズ 図ズ  
たどし

(1) 連声によって濁る「智」「茶」「中」「通」等はもとの

まゝ。

例  
入イレ 智慧レチエ 茶飲茶碗チヤノミヂヤワン 年中ネンヂユウ 融通ユウツウ

(2) 呉音によって濁る「地」「治」等はもとのまゝ。

例

地震ヂシ 絹地キヌヂ 治承ヂシヨウ 療治リョウヂ

第四 ユの長音に発音されるいう、いふはゆうとする。

例

一 いうをゆう とするもの

尤ユウ 友ユウ 幽ユウ 郵ユウ 誘ユウ 由ユウ 有ユウ 遊ユウ  
悠ユウ 憂ユウ 猶ユウ

二 いふをゆう とするもの

邑ニウ 揖ニウ

第五 オ列長音に発音されるあう、わう、あふはおうとする。

る。

例

一 あうをおう とするもの

央オウ 輿オウ 鶯オウ 桜オウ 鸚オウ

二 わうをおう とするもの

往オウ 王オウ 旺オウ 黄オウ 横オウ 凰オウ

三 あふをおう とするもの

凹オウ 押オウ 鴨オウ

第六 オ列長音に発音されるかう、くわう、かふ、こふは  
 こうとし、がう、ぐわう、がふ、ごふはこうとする。

例

- 一 かうをこうとするもの  
 好コウ 考コウ 向コウ 肴コウ 香コウ 講コウ 高コウ 航コウ  
 幸コウ 交コウ 効コウ 校コウ 江コウ 降コウ 行コウ 康コウ  
 慷コウ
- 二 くわうをこうとするもの  
 光コウ 荒コウ 宏コウ 紘コウ 広コウ 黄コウ 皇コウ
- 三 かふをこうとするもの  
 甲コウ 岬コウ 閣コウ
- 四 こふをこうとするもの  
 劫コウ
- 五 がうをこうとするもの  
 号ゴウ 郷ゴウ 強ゴウ 豪ゴウ 傲ゴウ
- 六 ぐわうをこうとするもの  
 轟ゴウ
- 七 がふをこうとするもの  
 合ゴウ
- 八 ごふをこうとするもの  
 業ゴウ 劫ゴウ

第七 オ列長音に発音されるさう、さふはそうとし、ざう、ざふはぞうとする。

例

- 一 さうをそうとするもの  
 掃ソウ 双ソウ 爪ソウ 相ソウ 倉ソウ 曹ソウ 漕ソウ 遭ソウ  
 葬ソウ 壮ソウ 操ソウ 早ソウ 草ソウ 騷ソウ 争ソウ 桑ソウ 喪ソウ
  - 二 さふをそうとするもの  
 挿ソウ
  - 三 ざうをぞうとするもの  
 造ゾウ 蔵ゾウ 象ゾウ 像ゾウ
  - 四 ざふをぞうとするもの  
 雑ゾウ
- 第八 オ列長音に発音されるたう、たふはとうとし、だうはどうとする。
- 例
- 一 たうをとうとするもの  
 刀トウ 島トウ 討トウ 盜トウ 唐トウ 糖トウ 当トウ 湯トウ
  - 二 たふをとうとするもの  
 桃トウ 陶トウ 稻トウ 禱トウ 悼トウ 橙トウ
  - 三 だうをどうとするもの  
 答トウ 塔トウ 踏トウ 納トウ

道<sup>ドウ</sup> 堂<sup>ドウ</sup> 棠<sup>ドウ</sup> 萄<sup>ドウ</sup>

第九 オ列長音に発音されるなう、なふはのうとする。

例

一 なうをのうとするもの

脳<sup>ノウ</sup> 惱<sup>ノウ</sup> 囊<sup>ノウ</sup>

二 なふをのうとするもの

納<sup>ノウ</sup>

第十 オ列長音に発音されるはう、はふ、ほふはほうとし、ほう、ばふ、ほふはほうとする。

例

一 はうをほうとするもの

報<sup>ホウ</sup> 邦<sup>ホウ</sup> 宝<sup>ホウ</sup> 方<sup>ホウ</sup> 包<sup>ホウ</sup> 保<sup>ホウ</sup> 褒<sup>ホウ</sup>

二 はふ またはほふをほうとするもの

法<sup>ホフ</sup>

三 ほうをぼうとするもの

暴<sup>ボウ</sup> 冒<sup>ボウ</sup> 坊<sup>ボウ</sup> 房<sup>ボウ</sup> 亡<sup>ボウ</sup> 望<sup>ボウ</sup> 膨<sup>ボウ</sup>

四 ばふ またはほふをほうとするもの

乏<sup>ボフ</sup>

第十一 オ列長音に発音されるまうはもうとする。

例

毛<sup>モウ</sup> 孟<sup>モウ</sup> 亡<sup>モウ</sup> 妄<sup>モウ</sup> 盲<sup>モウ</sup> 望<sup>モウ</sup> 網<sup>モウ</sup>

第十二 オ列長音に発音されるやう、えう、えふはようとする。

例

一 やうをようとするもの

羊<sup>ヨウ</sup> 洋<sup>ヨウ</sup> 様<sup>ヨウ</sup> 陽<sup>ヨウ</sup> 楊<sup>ヨウ</sup>

二 えうをようとするもの

要<sup>ヨウ</sup> 曜<sup>ヨウ</sup> 遙<sup>ヨウ</sup> 謡<sup>ヨウ</sup> 幼<sup>ヨウ</sup> 夭<sup>ヨウ</sup> 杳<sup>ヨウ</sup>

三 えふをようとするもの

葉<sup>エフ</sup>

第十三 オ列長音に発音されるらう、らふはらうとする。

例

一 らうをらうとするもの

老<sup>ロウ</sup> 勞<sup>ロウ</sup> 郎<sup>ロウ</sup> 廊<sup>ロウ</sup>

二 らふをらうとするもの

藺<sup>ロウ</sup> 臘<sup>ロウ</sup> 蠟<sup>ロウ</sup>

第十四 ウ列拗音の長音に発音されるきう、きふはきゆうとし、ぎうはぎゆうとする。

例

一 きうをきゆうとするもの

休<sup>キウ</sup> 丘<sup>キウ</sup> 臼<sup>キウ</sup> 糾<sup>キウ</sup> 久<sup>キウ</sup> 柩<sup>キウ</sup> 仇<sup>キウ</sup> 求<sup>キウ</sup>

二 きふをきゆうとするもの

急<sup>キフ</sup> 及<sup>キフ</sup> 吸<sup>キフ</sup> 級<sup>キフ</sup> 泣<sup>キフ</sup> 給<sup>キフ</sup>

三 きうをぎゆうとするもの  
牛ギキウ

第十五 ウ。列拗音の長音に発音される しう、しふはしゆう  
とし、じう、じふ、ぢゆうはじゆうとする。

例

一 しうをしゆうとするもの  
修シユウ 舟シユウ 囚シユウ 秀シユウ 就シユウ 収シユウ 臭シユウ 秋シユウ

州シユウ 洲シユウ 袖シユウ 周シユウ 週シユウ 聚シユウ 會シユウ

二 しふをしゆうとするもの

拾シツ 執シツ 集シツ 襲シツ 習シツ 輯シツ

三 じうをじゆうとするもの

柔ジユウ 獸ジユウ

四 じふをじゆうとするもの

拾ジツ 十ジツ 汁ジツ 什ジツ

五 ぢゆうをじゆうとするもの

重ジユウ 住ジユウ

第十六 ウ。列拗音の長音に発音される ちうはちゆうとす  
る。

例

昼チユウ 鑄チユウ 紐チユウ 宙チユウ 抽チユウ 胃チユウ 肘チユウ

第十七 ウ。列拗音の長音に発音される にう、にふはにゆう  
とする。

一 にうをにゆうとするもの

柔ニユウ

二 にふをにゆうとするもの

入ニユウ

第十八 ウ。列拗音の長音に発音される びうはびゆうとす  
る。

例

謬ビユウ

第十九 ウ。列拗音の長音に発音される りう、りふはりゆう  
とする。

例

留リユウ 柳リユウ 流リユウ

二 りふをりゆうとするもの

立リユウ 粒リユウ 笠リユウ

第二十 オ。列拗音の長音に発音される きやう、けう、けふ  
はきようとし、ぎやう、げう、げふはぎようとする。

例

一 きやうをきようとするもの  
驚キョウ 狂キョウ 兄キョウ 競キョウ 鏡キョウ 強キョウ 京キョウ  
郷キョウ 饗キョウ 杏キョウ

二 けうをきようとするもの

校キョウケウ 教キョウケウ 橋キョウケウ 喬キョウケウ

三 けふをきようとするもの

脅キョウケン 協キョウケン 俠キョウケン 夾キョウケン

四 ぎやうをぎようとするもの

仰ギョウキヤウ 行ギョウキヤウ 形ギョウキヤウ 刑ギョウキヤウ

五 げうをぎようとするもの

晧ゲウ 堯ゲウ

六 げふをぎようとするもの

業ゲフ

第二十一 オ列拗音の長音に発音される しやう、せう、

せふは しようとし、じやう、ぢやう、ぜう、でう、でふは

じようとする。

例

一 しやうをしようとするもの

相シヨウ 正シヨウ 商シヨウ 詳シヨウ 傷シヨウ 省シヨウ 生シヨウ  
唱シヤウ 将シヤウ 尚シヤウ 聖シヤウ 性シヤウ 章シヤウ 掌シヤウ

二 せうをしようとするもの

小シヨウ 少シヨウ 消シヨウ 召シヨウ 招シヨウ 詔シヨウ 照シヨウ 笑シヨウ

三 せふをしようとするもの

焼セフ 礁セフ

涉シヨウ 妾シヨウ 捷シヨウ

四 じやうをじようとするもの

上ジヨウ 情ジヨウ 淨ジヨウ 状ジヨウ 讓ジヨウ 成ジヨウ 城ジヨウ

常ジヨウ

五 ぢやうをじようとするもの

場ジヨウ 娘ジヨウ 嬢ジヨウ 釀ジヨウ 丈ジヨウ 杖ジヨウ 定ジヨウ

錠ジヨウ

六 ぜうをじようとするもの

擾ゼウ 饒ゼウ

七 でうをじようとするもの

条デウ 嫺デウ

八 でふをじようとするもの

帖デフ 疊デフ

第二十二 オ列拗音の長音に発音される ちやう、てう、てふ

は ちようとする。

例

一 ちやうをちようとするもの

丁チヨウ 町チヨウ 長チヨウ 腸チヨウ 聽チヨウ 提チヨウ 挺チヨウ

二 てうをちようとするもの

弔チウ 鳥チウ 朝チウ 兆チウ 超チウ 調チウ 彫チウ

三 てふをちようとするもの

帖チフ 蝶チフ 牒チフ

第二十三。オ列拗音の長音に発音される ねう は によう とする。

例  
 尿 ニョウ 饒 ニョウ 遶 ニョウ 繞 ニョウ

第二十四。オ列拗音の長音に発音される ひやう、へう は ひよう とする。

例

一 ひやう を ひよう とするもの  
 兵 ヒョウ 平 ヒョウ 評 ヒョウ

二 へう を ひよう とするもの  
 表 ヒョウ 俵 ヒョウ 票 ヒョウ 豹 ヒョウ

三 びやう を びよう とするもの  
 屏 ビョウ 病 ビョウ 鋌 ビョウ

四 べう を びよう とするもの  
 苗 ビョウ 描 ビョウ 猫 ビョウ 眇 ビョウ 廟 ビョウ

第二十五。オ列拗音の長音に発音される みやう、めう は みよう とする。

例

一 みやう を みよう とするもの  
 明 ミョウ 命 ミョウ 名 ミョウ 茗 ミョウ 冥 ミョウ

二 めう を みよう とするもの

例  
 妙 ミョウ 苗 ミョウ 猫 ミョウ

第二十六。オ列拗音の長音に発音される りやう、れう、れふ は りよう とする。

例

一 りやう を りよう とするもの  
 良 リョウ 両 リョウ 令 リョウ 領 リョウ 涼 リョウ 諒 リョウ 量 リョウ

二 れう を りよう とするもの  
 聊 リョウ 料 リョウ 了 リョウ 僚 リョウ 寮 リョウ 寥 リョウ

三 れふ を りよう とするもの  
 獵 リョウ 齧 リョウ